

## 平成27年3月25日 学位授与式・式辞(松江)

本日、島根県副知事様をはじめ、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、学位授与式を挙行し、皆さんの門出をお祝いできることは、島根大学として大きな喜びであります。

法文学部、教育学部、総合理工学部及び生物資源科学部の四学部983名の学部卒業生、並びに大学院人文社会科学部研究科、教育学研究科、総合理工学研究科、生物資源科学研究科及び法務研究科の五研究科208名の大学院修了生、合わせて1,191名の皆さんに対して心からお祝い申し上げます。

また、この日まで、卒業生、修了生の皆さんの成長を、大きな期待を持って見守って来られたご家族、関係者の皆様方にも、本学教職員・在学生と共に、心からお慶び申し上げます。

皆さんは、それぞれの学問分野で、高い目標をもって困難な道に挑まれ、今日ここに、めでたく、卒業、修了の日を迎えられました。この間、皆さん自身の弛まない努力と精進があったことは申し上げるまでもありませんが、熱心に指導にあられた先生方、在学中の長い年月を絶えず励まし、支えて来られたご家族や友人の皆さん、そして、よりよい学生生活を送れるようご支援をいただいた地域の皆さんや本学職員の皆さんのおかげがあったことを忘れてはなりません。また、国立大学である島根大学で多くの国費により高等教育を受けられたことを肝に銘じ、これから社会に対する恩返しをしていく気持ちを忘れないでください。

さて、皆さんはこの後、それぞれの専門分野で培った能力を生かして社会で活躍される、あるいは、さらに高度な専門的能力を習得するために進学されることになるでしょう。島根大学で教育を受けられた皆さんを社会に送り出すことができますことは、島根大学としての大きな誇りです。学位記を手にしたということは、皆さんがそれぞれの専門的知識を習得し、また多くの友人や教員との触れあいのなかで人間的にも立派に成長したことを証明するものです。この学歴が皆さんの社会的信用を裏付ける一方で、皆さん自身もこの学歴に恥じない活躍をする責任を負ったことにもなります。卒業、修了したということは一つの目標を成し遂げたことであり、大いに価値のあることですが、この後、如何に社会の一員としての使命と責任を果たしていくのかが、より一層重要なことです。皆さんには、高い倫理観に基づいて、それぞれの分野で責任ある役割を担うという自覚を持っていただきたいと思います。

同時に皆さんは、社会から、高等教育を受けた知識人、教養人であることが期待されます。教養ある知識人は、世の中には多様な価値観があることを理解し、異なる文化や価値観を尊重できる人でなければなりません。これからさらにグローバル化が進みます。諸外国の文化を理解するにはまず自分の国、郷土の文化を知ることが必要です。第二のふるさとを含め、ふるさとを愛せる人こそが

国を愛することができ、グローバルな感性を持って本当の意味の国際交流ができる人だと思います。グローバルな考えを持って各々の地域で活躍することが重要です。

社会に出て落ち着いたら是非日本のルーツともいべきこのふるさとの歴史、文化をもう一度見直して頂きたいと思います。

明治時代、島根大学の前身である島根県尋常師範学校で教鞭を執った小泉八雲は、イギリスの日本研究者チェンバレンによる、「古事記」の英語訳を読んで日本にあこがれて来日、そして松江に住み、古い出雲の国をこよなく愛して、「知られざる日本の面影」を書き上げ、世界に日本の素晴らしさを紹介しました。

島根大学史の大学創設の経緯に、戦後間もない昭和二十二年に、GHQ 民間情報教育課教育顧問のウォルター・イールズ氏が、当時山陰大学として計画されていた施設を視察し、「私は、島根県は日本文化発祥の地と聞いたが、このような歴史的背景を持つ松江に大学を設置することは有意義である。この歴史的背景の重要性はこの大学設置計画を国際的な基礎において認められるのに役立つと思う。米国においては多くの有名な大学は偉人の名をとっている。小泉八雲の文学的作品の多くは松江で書かれたことを聞き、予定される大学の名前はこの有名な国際的文人の名をとって、ラフカディオ・ハーン大学とすることを提唱する」と言ったと記載されています。残念ながら、この案は消えてしまいましたが、ラフカディオ・ハーンの素晴らしさを知っていたイールズ氏は最初から、この文化歴史的背景を基にグローバルな大学構想案を持っていたと言えます。

みなさん、小泉八雲が教えてくれた日本の素晴らしさを忘れずに、島根大学に誇りを持って、これからもずっと島根大学を応援して頂きたいと思います。島根大学も全国の同窓会と共にいつまでも皆さんを応援し続けます。

最後にみなさんの今後のご活躍を心から祈念して、式辞といたします。

平成27年3月25日  
島根大学長 小林祥泰